

第 45 回(2019 年度) 地域安全学会研究発表会(秋季)に参加しました (2019/11/1-2)

テーマ：災害科学

場所：静岡県立大学（静岡県静岡市）

11月1日（金）～2日（土）の2日間、静岡県立大学（静岡県静岡市）で地域安全学会の秋季研究発表会が開催されました。地域安全学会は、研究者、技術者、国や地方自治体の実務家などによる、自然災害や人為災害を対象として地域の安全問題に関する研究を行う学会です。当研究所からは、地域安全学会副会長として村尾修 教授（地域・都市再生研究部門）が、開会冒頭挨拶を担当し、4編の査読論文（うち、筆頭著者1名）と2編の一般論文の研究発表が行われました。査読論文の口頭発表では、佐藤翔輔 准教授（人間・社会対応研究部門）が登壇しました。著者及び論文名は次の通りです。

【査読論文】

佐藤翔輔，邑本俊亮，今村文彦ら：震災体験の「語り」が生理・心理・記憶に及ぼす影響：語り部本人・弟子・映像・音声・テキストの違いに着目した実験的研究
門倉七海，佐藤翔輔，今村文彦：仙台市震災復興メモリアル施設の利用実態と利用評価に関する調査分析 一せんだい 3.11 メモリアル交流館と震災遺構仙台市立荒浜小学校一
川見文紀，佐藤翔輔ら：借り上げ仮設住宅施策はすまいの再建を早めたか 一宮城県名取市のデータを用いた因果推論一
寅屋敷哲也※，杉安和也，佐藤翔輔，村尾修ら：津波災害における基礎自治体の代替庁舎での業務継続に関する考察 一東日本大震災の南三陸町職員の初動対応検証調査より一

【一般論文】

畠山久，寅屋敷哲也※，杉安和也，佐藤翔輔ら：「地域安全学 夏の学校 2019 一基礎から学ぶ防災・減災一」 地域安全学領域における若手人材育成 その4
新家杏奈，佐藤翔輔，今村文彦：思考・行動の変化に着目したインタビュー調査による津波避難行動過程の事例分析 一東日本大震災時の気仙沼市波路上エリアを対象にして一

（著者名は、筆頭著者と当研究所構成員のみ記載。下線は当研究所構成員。※印は元当研究所構成員）



副会長 開会冒頭挨拶（村尾 教授）



査読論文・口頭発表（佐藤翔輔 准教授）

文責：佐藤翔輔（人間・社会対応研究部門）

杉安和也（災害科学・安全学国際共同大学院プログラム担当）